

北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する 有識者検討会議について

1. 有識者検討会議の概要

(1) 趣旨

- 北海道新幹線の札幌延伸に伴って生じる鉄道貨物輸送に係る諸課題等について、令和4年11月より、国、道、JR貨物、JR北海道の4者の実務者レベルで情報共有等を行う「情報連絡会」を開催し、本年7月、これまでの議論をもとに「論点整理」をとりまとめ。
- 論点整理で示した諸課題の解決について一定の目途を立てるため、「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者検討会議」を立ち上げ、最終的な結論が得られるよう課題の解決方策について検討を進めるもの。

(2) 構成員

- | | | | |
|----------|------------------------------|-----------------|------|
| 【学識経験者】 | 石井 吉春 | 北海道大学公共政策大学院 | 客員教授 |
| | 岸 邦宏 | 北海道大学大学院工学研究院 | 教授 |
| | 兵藤 哲朗 | 東京海洋大学海洋科学技術研究科 | 研究科長 |
| | (座長) 二村 真理子 | 東京女子大学現代教養学部 | 教授 |
| 【関係団体】 | 北海道経済連合会 | | |
| | 一般社団法人 北海道商工会議所連合会 | | |
| | ホクレン農業協同組合連合会 | | |
| | 一般社団法人 北海道機械工業会 | | |
| | 一般社団法人 北海道消費者協会 | | |
| 【鉄道事業者】 | 北海道旅客鉄道株式会社 | | |
| | 日本貨物鉄道株式会社 | | |
| 【オブザーバー】 | 北海道開発局 開発監理部開発調整課 | | |
| | 北海道経済産業局 産業部産業振興課 | | |
| | 北海道地方環境事務所 環境対策課 | | |
| | 北海道農政事務所 生産経営産業部、企画調整室 | | |
| 【事務局】 | (国土交通省) 鉄道局 鉄道事業課、総務課貨物鉄道政策室 | | |
| | 北海道運輸局 交通政策部、鉄道部 | | |
| | (北海道庁) 総合政策部 交通政策局 | | |

2. 第1回会議の概要

(1) 日時

令和5年11月29日(水) 16時00分～18時00分

(2) 場所

T K P 札幌ビジネスセンター赤れんが前 ホール5 C

(3) 議題

- ・ 構成員の紹介、座長選任（東京女子大学 二村教授を選任）
- ・ 資料説明（開催趣旨、北海道新幹線札幌延伸と北海道における物流をめぐる状況、情報連絡会における論点整理）
- ・ 意見交換
- ・ 今後の進め方

(4) 主な意見

- ・ 貨物量の季節繁閑の平準化によるコスト削減や、線区の維持に向けた受益者負担の枠組みを考えていく必要があるのではないか。
- ・ 誰が費用を負担するかなど、どのようにこの貨物鉄道を残すのかに尽きるので、スピード感を持って議論を進めた方が良いのではないか。
- ・ 道において貨物鉄道の担う役割は大きく、貨物鉄道を前提に議論していくべき。自動運転など新技術も含めた幅広い議論が必要だが、最後は費用負担の議論になっていく。
- ・ 全国ネットワークであることに鑑みて、この貨物鉄道をどのように守っていくのか、道外の地域の方々にどのように理解してもらうかが重要。
- ・ 費用負担については、北海道だけの制度設計ではなく、全国における同様の課題に対応できるように議論をしていく必要がある。
- ・ 全国へ影響のある課題でもあるので、受益者が誰になるのかを議論した上で、それを踏まえて負担の議論に進んでいただきたい。

(5) 今後の進め方

- ・ 関係者からのヒアリング等を行いながら、鉄道施設の保有主体等の課題の解決方策について検討を進め、令和7年度末を目途に最終的な結論を得ることを想定。

3. 今後の対応

- 第2回会議（令和6年3月の開催を予定）に向けて関係者と調整を進める。